

| | |
|---------|--|
| 1.技 術 | 4.3 参考資料 |
| 2.事 業 名 | 4.3.18 電気透析(ED)法 |
| 3.キーワード | 電気透析 |
| 4.目 的 | <p>下図のようにアノード(正極)カソード(負極)間に、陰イオン選択透過性膜 A と陽イオン選択透過性膜 K を交互に配列して隔室を作る。この各室に海水を満たして両極間に直流を通电するとナトリウムイオンはカソード側へ、塩素イオンはアノード側へ、それぞれ電気泳動によって移動しようとする。ナトリウムイオンは、K 膜(陽イオン交換膜)は透過できるが、A 膜(陰イオン交換膜)は透過できない。塩素イオンはちょうど逆の現象となる。その結果、三つの(希)室では食塩の濃度は薄くなり、二つの(濃)室へ移動することになる。</p> <p style="text-align: center;">図 電気透析の原理</p> <p><出典：造水技術ハンドブック 2004, (財)造水促進センター, p109(2004)></p> |